

八王子でつながる二人の偉人（前編）

こえぬま のぶつぐ

肥沼信次博士 ～ドイツで語り継がれる日本人医師～

1937年、八王子市出身の肥沼信次という一人の日本人医師がドイツへ旅立ちました。肥沼博士が今なおドイツ郊外の都市 Wriezen(ヴリーツェン)で尊敬を集めているのはなぜでしょうか。今回は肥沼博士の生涯を通して「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」(代表・塚本回子さん)の活動を紹介します。



【写真①】肥沼博士の墓参をする八王子市とヴリーツェン市の両市長

ドイツ郊外にあるヴリーツェン市は、肥沼博士が医療に従事していた病院のあった場所で、現在の市庁舎はその病院施設を活用したものです。1994年ヴリーツェン市では肥沼博士を名誉市民に認定しました。

2017年八王子市とヴリーツェン市で友好交流協定が締結され、両市の交流が始まりました。



【写真②】八王子市を訪れたヴリーツェン市長ら

肥沼博士が治療に取り組み始めたころは、チフスへの感染を恐れ 看護師も協力しようとする人は多くありませんでしたが、患者を救おうとする一心で治療にあたる肥沼博士の姿に、次第に考えをあらためたそうです。

肥沼博士とともに働いた、看護師のフィードラさんも、肥沼博士の献身的な治療を目の前で見ていた 1 人です。



写真④

【写真③】「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」(以下「伝える会」) 代表・塚本さんと看護師のフィードラさん



写真③

2021年10月、ヴリーツェン市の市庁舎と博士の墓所を結ぶ道が「Dr.コエヌマ通り」(旧称:シュトイアー通り)と名付けられました。

「伝える会」は“日本の桜をもう一度見たかった。みんなにも見せたかった”という肥沼博士のことばのとおり、桜を植えることを計画、募金を通じて実現を目指しています。

【写真④】「Dr.コエヌマ通り」

団体概要「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」

- ・ 設立：2015年10月1日
- ・ 会員数：30名(2022年2月現在)
- ・ 活動内容：肥沼信次医師の偉業を後世に伝えるため、小・中学校等での講演会活動や、日本とドイツとの両国間交流活動などを展開。
- ・ 会費・入会金：なし
- ・ お問い合わせ：m-hachi@wd5.so-net.ne.jp (事務局 松本)



「伝える会」では毎年3月8日にヴリーツェン市で行われる慰霊祭に八王子市内の小・中・高校生や市民の制作した千羽鶴を送っています。

「誰かのために生きてこそ人生には価値がある」

「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」代表の塚本回子さんが肥沼博士を知ったのは、会の発足より10年ほどさかのぼったあるセミナーでした。

肥沼博士のドイツでの偉業を知れば知るほど、八王子市出身にもかかわらず「肥沼信次博士」が地元・八王子市ではほとんど知られない存在であることを残念に思い、10年間あたため続けた思いを形にするべく2015年「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」を立ち上げました。



八王子市中町にある
肥沼博士の顕彰碑

そして、2017年八王子市市制100周年の記念事業のひとつとして、市民提案事業に採択されたことをきっかけに活動の場を広げていきました。肥沼博士の功績を後世に伝えるため、募金活動で八王子市中町公園に顕彰碑を設置し、市に寄贈しました。

同年には「伝える会」の塚本さんほか6名が市民訪問団として、八王子市長・市議会議長をはじめとする7名の公式訪問団とともにドイツ・ヴリーツェン市を訪問、八王子市とヴリーツェン市との間に友好交流都市協定が締結されました。また八王子市の市制100周年記念行事にヴリーツェン市長らを招聘するなど交流が始まりました。

塚本さんら「伝える会」は、今まで70回以上の講演会をし、会員の田中尚子さんによる絵本『ドクター肥沼ものがたり』（2019）は市内すべての公立小学校に40冊ずつ配布、小・中学校の道徳の教科書にも採用されるようになりました。

特に博士の母校である八王子市立第三小学校では全校あげて偉大な先輩のことを学んでいるそうです。

ヴリーツェン市にある肥沼博士の墓所
には毎年3月8日の慰霊祭に日本から
送られた千羽鶴が飾られる。



田中尚子さん

「伝える会」の一員
として仲間と
紙芝居を作成。
絵本
「ドクター肥沼
ものがたり」
で文・絵を担当



次号
予告

SUPPORT802 第108号 八王子でつながる二人の偉人（後編）

肥沼信次博士が渡独する72年前、「トロイ遺跡」の発掘で知られるドイツの考古学者、ハインリヒ・シュリーマン（1822～90年）が幕末の八王子を訪問していた、という意外な事実を手掛かりに、大学生のグループが八王子市の街おこしに取り組んだ「桑都プロジェクト」を紹介します。



Dr.肥沼(肥沼信次博士)

肥沼信次博士は、1908年八王子市中町に生まれ、日本医科大学を卒業後、ドイツに渡りベルリン大学で教授資格を取得。戦後の混乱の中、ドイツ人医師不在となったヴリーツェンにて感染症の対策に力を尽くしました。しかし自身もチフスに罹患し、1946年37歳で病死しました。その功績は大きく、今も地元では名誉市民として語り継がれています。



その他にもシンガー・ソングライター 富永裕輔さんによる肥沼博士を描く「Life is Waltz」が話題になるなど、市民レベルでも肥沼博士の名が徐々に知られるようになりました。

富永裕輔さん



2018より八王子観光PR特使
シンガー・ソングライター

肥沼信次博士を
描いた歌
「Life is Waltz」
を発表



ドイツでは広く知られていた肥沼博士の名が日本、八王子に届いたのは1989年ベルリンの壁が崩壊し東西ドイツが統一された後です。東ドイツの社会主義体制の中では、「資本主義国の日本人」の情報が日本に伝わってこなかったのです。

塚本さんは理由として「戦争による人と人との交流ができなくなる事の怖さ」をあげます。「肥沼博士の母君は、博士がドイツで病死した後17年間も息子の消息を探し続け、その死を知らぬままご逝去されたそうです」

取材を終えて、肥沼博士が尊敬していたアインシュタインの格言「誰かのために生きてこそ人生には価値がある」そのもののような肥沼博士の生涯を思い、「誰かの心に残るような人生を」という塚本さんのことが深く心に残りました。

アクティブ市民塾

のご案内

3月13日(日)のアクティブ市民塾は「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」の紹介をします。詳しくは次ページの講座案内をご覧ください。

**パワーアップ
講座**

3月4日(金) 14:00～16:30
クリエイティブホール11F 視聴覚室
第6回 広報と地域メディアの活用

第6回は「広報と地域メディアの活用」と題して、講演とパネルディスカッション方式の2部構成で開催します。
団体活動をどうアピールするか？地域メディア編集者の方々のディスカッションから学びます。

申込みはホームページをご覧ください



**アクティブ
市民塾**

3月13日(日) 14:00～16:00
まちなか休憩所八王子南 2F まち・なかギャラリー
八王子の Dr. 肥沼の偉業を知ろう

1937年、肥沼信次という1人の医師がドイツへ旅立ちました。日本人である彼が、ヴリーツェンの人々によって語り継がれ、今も尊敬を集めているのはなぜでしょうか？「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」をお招きして話を伺います。

申込みはホームページをご覧ください



交流会

3月21日(月・祝) 14:00～16:30
オンライン (Zoom) 開催
生きづらさを抱える若者の支援者向け交流会

講演『生きづらさを抱える若者支援に助けになるヒント』受講後、グループディスカッション形式で、現状について意見交換し、生きづらさを感じる若者への支援の今後について一緒に考えます。

申込みはホームページをご覧ください



**NPO
八王子会議**

3月27日(日) 14:00～16:00
オンライン (Zoom) 開催
第8回 NPO 八王子会議

『コロナ時代の共生社会実現のための連携』の講演後、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」の時代のNPO活動のあり方、共生社会を実現するための連携について Zoom にて自由に意見交換を行います。

申込みはホームページをご覧ください





八王子市市民活動支援センター
 〒192-0042 八王子市旭町12番1号ファルマ802ビル5階
 電話 042-646-1577 Fax 042-646-1587
 Eメール npo802@shiencenter-hachioji.org

https://www.shiencenter-hachioji.org/
 八王子市市民活動支援センター 広報「はちコミねっと」
 http://hachikomi.genki365.net/

開館時間 10時～21時 日・祝は17時まで
 休館日 月曜日 祝日の場合は翌火曜日
 指定管理者 特定非営利活動法人八王子市市民活動協議会

あなたのまちを、
 明るくする。
 八王子



イベント

日時

会場

内容

主催

申込先

備考

EA 八王子グループミーティング

3/5、3/12、
3/19、3/26
各(土)
13:15～14:45クリエイイトホール
(八王子市東町
5番6号)感情・情緒の問題
で、生きづらさを感じている人の
交流会EA 八王子
グループ申込み不要
当日集合場所
にお越しください参:無料
定:15名
対:どなた
でも

助成金情報

詳細は、八王子市市民活動支援センターにお問合せいただくか、はちコミねっとのサイトをご覧ください

名称

主催

助成対象

助成金額

締切

地域活動団体への助成
「生活学校助成」公益財団法人
あしたの日本を
創る協会身近な地域や暮らしの課題解決
活動

- ① 生活学校への参加
6万円(初年度3万円、
2年目3万円)
② 全国運動への参加
上限5万円
(現在のテーマは「食を通じ
た子どもの居場所づくり」)

4/30
(土)

編集後記

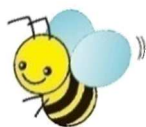
八王子市市民活動支援センター広報紙「SUPPORT802」は、毎奇数月の発行です。今号は3月1日付の発行となるため、令和3年度としての広報紙は最終号となります。最近の傾向として、センターに若い世代の方、さまざまな国の方が多く見えるようになりました。「共生」の在り方をあらためて考える一年でした。暗いニュースが多く聞かれる昨今ですが、ちょっとだけ周りを見ることが、自分以外を意識することにつながるのですね。令和4年度もどうぞよろしくお願いいたします。

facebook
やってます！

八王子市市民活動支援センター

私たち一人ひとりがつながって夢をカタチにできる八王子

ここから いいね！してね

<https://www.facebook.com/npo802> からアクセスできます八王子コミュニティ活動応援サイト
「はちコミねっと」<http://hachikomi.genki365.net/>
※右のQRコードからもアクセスできます。SUPPORT802
バックナンバーはこちらから